

■英国：産学共同プロジェクト、水素列車の試運転が開始

2019年6月20日付の報道によると、英国のバーミンガム大学と鉄道車両リース会社であるPorterbrook社が共同で開発した水素列車「HydroFlex」の試運転がイングランド中部の州であるWarwickshire州のLong Marstonで実施された。水素列車はドイツで実用化されて以来世界で2台が走行しているが、今回のHydroFlexは3例目を目指すとしている。英国では2019年現在、鉄道網全体の42%のみが電化（列車は70%以上が電動化）されており、電化されていない箇所は主にディーゼル燃料（列車の約24%を占める）で走行しているため、その燃料を水素へ転換することでCO₂削減が可能であるとしている。また、HydroFlexは今後2年以内の運開を目指しており、政府が打ち出している2040年までのディーゼル列車の廃止に貢献するとしている。